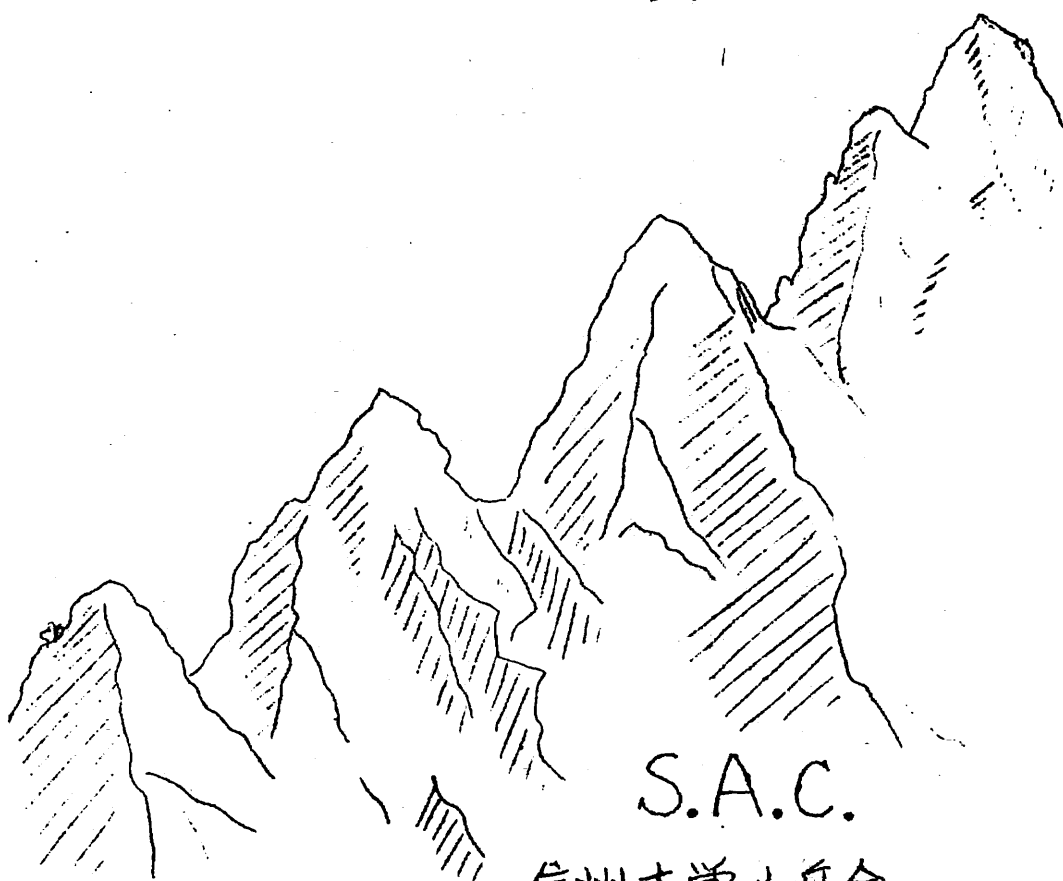


'82

# 新人合宿

## 報告書



S.A.C.

信州大学山岳会

T.H.

# 目次

Page

5月30日 入山日 (徳本越え) ----- 3.4

31日 明神 ~ 横尾 B.C.  
6月1日 沈 澱 ----- 5.6

2日 洞沢雪割

3日 北穂沢 ~ 北穂北峰 } 逆方向 ----- 7.8  
4日 沈 澱

5日 白出のコル ~ 奥穂  
6日 下山日 (B.C ~ 上高地) ----- 9.10

前穂北尾根 5.6のコルより3峰 ----- } 11.12  
IV峰正面壁 松高ルート

赤沢山正面壁 クラック・ルート ----- } 13.14  
クラック尾根

滝谷 3尾根 ~ ドーム中央稜 ----- 15

糸の反省 ----- 16.17

各自の反省 ----- 18.19

あ ~ 5.10!

# 行動記録

5/30

A ノーテ

記: 官本

- 6:05 うすじもり。車人と出発前ノアニング。ナワのヒモが切れた。もう一人で行ってしまった。我々ノアニングの日どうなるのかわからず。P.S. フライデーの2日目いの子うた。ま、まがら2回も下げてい
- 6:27 出発
- 9:15 小休止
- 9:15 小休止。燃弱く晴れ。ノアの水が例年より少なじかこと。相道地二股。午前500m位。コラX3。最後まで。L.A. 175。ためらってす
- 9:20 小休止。晴れ。X1 (1/6)
- 10:35 小休止。三股上1.5km。午前。晴れ。コハク君がつかった。バテた。しーか。トホの石。トホ。フジ。鳥の音。流石。熊ト母。蓮色に見えろ。自然母と子母とし。のてす
- 11:00 小休止
- 11:35 小休止。晴れ。X1 (2/6) 正業午前500m位上。2座折。27m位
- 12:40 小休止。小豆着。くじ。先バレーのラストが10時台。出発は7時位
- 13:05 小休止。同上。雨がバレーと...
- 13:50 小休止。コハク君がつかった。バレー組人。当所。正業。自分のペースで。組人。ノア。L.A. 175。熊ト母。蓮色に見えろ。自然母と子母とし。のてす
- 14:35 15:43 小休止。くじ
- 16:45 小休止。正業。午前500m位上。2座折。27m位
- 17:40 小休止。正業。午前500m位上。2座折。27m位
- 18:05 小休止。正業。午前500m位上。2座折。27m位
- 19:15 小休止。正業。午前500m位上。2座折。27m位
- 20:00 小休止。正業。午前500m位上。2座折。27m位

B ノーテ (杉川村、小保村、度) 記: 小保

5:18 大 → 5:48 鳥2。6:07 大 → 6:44 R0 → 7:25 R0 (右側) →  
 → 8:23 R0 → 9:45 R0 → 10:23 鳥2 → 10:48 R0 → 11:10 杉川村の山  
 11:4 大 → 12:02 R0 → 13:16 R0 → 14:29 R0 → 15:30 R0 → 18:5 杉川村  
 → 20:45 大 → 23:30 X1 → 24:20 杉川村

バテてしまいました。  
 R0 目小休止のことの意味して可。  
 杉川村のAノアニングの「トホ、トホ」母は昔ながら、たどろ  
 14時間 30分を歩きつた。  
 杉川村の雨男でした。

Cパーティ (丸山、暗不麻、渡辺(後) 長谷川) 完長谷川  
 大宮 5:00 - 島尻宿 6:15 - 二俣 8:10 - 笠原 10:30 (U:05発)  
 - 徳本峠 4:06 (6:50発) - 明神又場 7:20

島尻宿から徳本一又宿まで、雷雨守り、夏道とこの季節は  
 天多日も、スレたが、雨夕日が出た  
 日曜日なので、登山者も少なかった  
 最後の登りは地獄の道だった

Cパーティは3番目上島尻宿を出たにもかかわらず徳本峠には書刺では  
 後続パーティと2時間近く引き離した。

Dパーティ (古賀、東原崎、上、岩村、関) 完井上  
 6:10 出発 - 6:40 日目 - 7:40 2日目 - 8:30 3日目 - 10:00 4日目 -  
 - 11:50 5日目 - 11:25 6日目 (熊谷) - 12:50 7日目 - 1:35 8日目 -  
 2:40 9日目 - 3:40 10日目 (峠、峠) - 5:10 11日目 - 6:10 徳本峠 - 7:15 又場

島尻宿を2番目上出発。しばらくの間下スルル道の道を歩き、林道になる  
 東原崎まで1本目、深から50分のペースだと思ったので  
 急がした。でも、もう腕の感覚がキレなくなっているから  
 歩かした。2本目と3本目の分岐点までは、快調な(宇調子)  
 林道歩き、北沢との分岐点から登山道、4本目も同じになった。  
 又原東が足をつまみ一時停止、それからまた何が何だも  
 足をつまみつけてペースダウン、暗いまであと10分くらい  
 いるので3番目上出発条件Cパーティに抜かれる。みんな快調な  
 ペースで登っている。冗談を言い合ったり、岩村さんと関さんの  
 自分か復讐しい、熊谷で石渡さんと山本さんと一緒に登山  
 準備をたてかおすかたオスルリの息がこたえな始める。  
 東原宿からペースがあがる。20~30m歩、20分ほど歩くことが  
 少なくなかなか進まない。岩村さんが"うん"と取って休む  
 食べた。つかれた。息が上がる直前の橋で丸パーティを引かす  
 "よし"と抜く。息が上がる。息が上がる。息が上がる。息が上がる。  
 間もなくBパーティに追いついた。快調なペースで登る。息が上がる。  
 Cパーティのペースは峠上や水に到着。6時半にCパーティ  
 一歩上場に向かて下り始める。ほとんどの前が見えなくなった。  
 テレ場についた。

感想: 峠に上った時少し暑かったが、峠まで上りた。今日は北原、荷で  
 やって行くかと思つた。登山の12時間  
 下の45分のほうが腰が痛いため。暑かった。おな  
 気がお